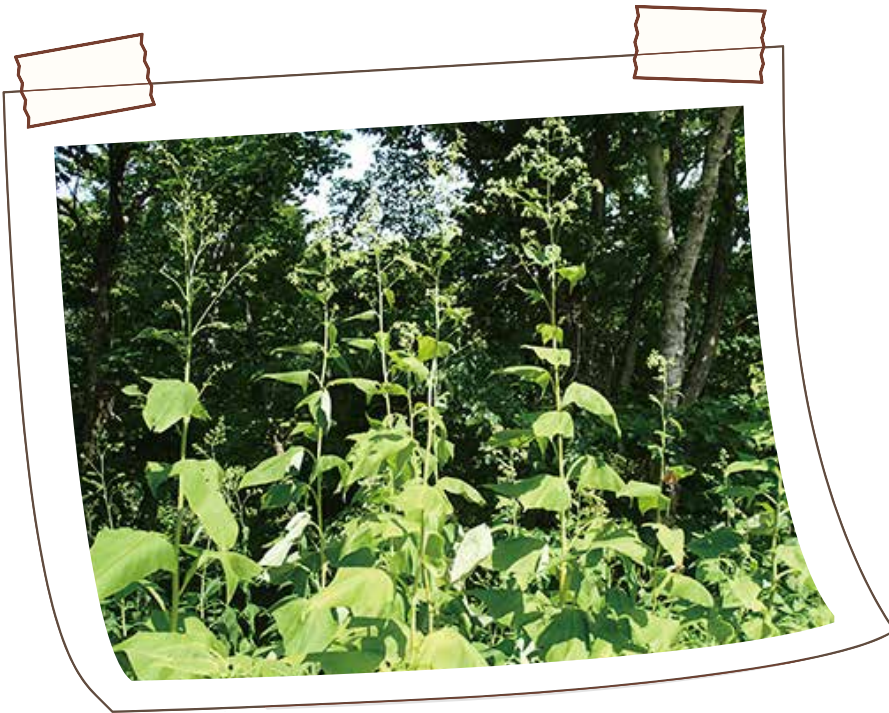




ネイチャーセンターだより

2017年8月号

いきもの図鑑



ヨブスマソウ (キク科)

漢字名：夜衾草

背丈が2mを超えるものもある、ひよる長い植物。自然学習林内にたくさん生えている。三角形の葉は、顔よりも大きくなり特徴的。ヨブスマとはコウモリまたはムササビのことをいう。三角形の葉の形が名前の由来。葉っぱに比べて地味な小さく地味な花は、7月下旬から8月に咲く。



イラスト画像「みさきのイラスト素材」より
<http://www.misaki.rdy.jp/illust/text/link.htm>

【自然学習林】

小鳥たちの繁殖が一段落し、さえずりは落ち着きます。時どき今年生まれた幼鳥が見られることもあります。上旬はクサフジやエゾフウロが見ごろを迎え、下旬はハンゴンソウやエゾトリカブトなど晩夏の花たちが咲きます。

8月の見どころ



防波堤沿いにエゾオグルマ



ウンラン



ハンゴンソウ



エゾフウロ

【春国岱・風蓮湖】

盛夏の春国岱は、エゾオグルマ・ハチジヨウナ・ウンラン・ハマニガナなど黄色の花ばなが多く見られます。なかでも防波堤に沿って咲くエゾオグルマの群落は、見ものです。風蓮湖には、北方で繁殖を終えたシギ・チドリ類の秋の渡りが始まり、干潟や浅瀬で休息しています。

見どころMAP

✂ 春国岱・自然学習林ともに蚊の多い季節です
✂ 黒い服を避け、長袖・長ズボンがおすすめです



- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- ⊗ 通行止め

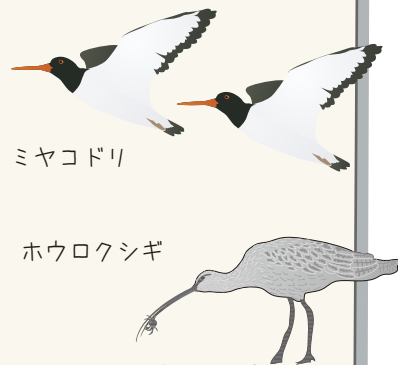
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (車両進入禁止)
- 🏠 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

トピックス

シギ・チドリが戻って来ています

春と秋に風蓮湖に現れる旅鳥のシギ・チドリの仲間。春の渡りは5月下旬で終わりになりましたが、6月下旬になって、早くも5種類が記録されています。これらは、何かの事情で子育てをしなかったものが帰ってきたのかもしれませんが。

ミヤコドリ	6/22. 7/6. 8. 13. 14. 15 (すべて3羽)
ハウロクシギ	6/24. 27 (共に1羽) 7/1. 4. 17 (すべて2羽)
キアシシギ	6/24 (4羽) . 6/27 (数不明) . 7/22. 23 (共に1羽、声) 7/25 (6羽、道の駅スワン44うらの干潟)
メダイチドリ	7/14 (5羽)
キョウジョシギ	7/14 (2羽)



また、7/25には、道の駅スワン44対岸の風蓮湖の平潟で、250羽ものトウネンを観察しました。風蓮湖各地では例年、30種類以上のシギ・チドリ類が見られます。数が多いのは、キョウジョシギ・トウネン・ハマシギ・キアシシギ・アオアシシギ・オオソリハシギ・メダイチドリです。

8月にはシギ・チドリ類の秋の渡りが本格的になります。7月下旬から開始する風蓮湖・春国岱のシギ・チドリ類調査の速報は、次号でお知らせします。

輝く夏毛・エゾシカの親子

6月下旬ごろから、今年生まれの仔ジカを見かけるようになりました。エゾシカは1回の出産で1頭子どもを産みます。メスは自分の姉妹や母など家族で群れを作って生活しますが、出産の時期だけは群れから離れ、天敵から身を隠すようにして親子だけで過ごします。子どもが少し成長し、行動範囲が広がったころ、また群れに合流します。

7/27に春国岱全体を調査した際に、10頭以上の群れを5つ見つけました。そのうち1つの群れは、14頭のうち3頭が今年生まれの仔ジカでした。時どき母ジカのおっぱいをねだるしぐさをしていました。エゾシカは夏と冬で体毛の色や模様が変わります。夏毛は、赤茶色に白のまだら模様がついています。これは森の中で、姿を目立たなくするのに役立つようです。エゾシカは秋の繁殖期を迎える頃に、冬毛に変わり、顔つきも凛々しくなります。

数が増えすぎて問題も多く抱えています。盛夏の春国岱の草原のエゾシカは、一段と美しくみえます。



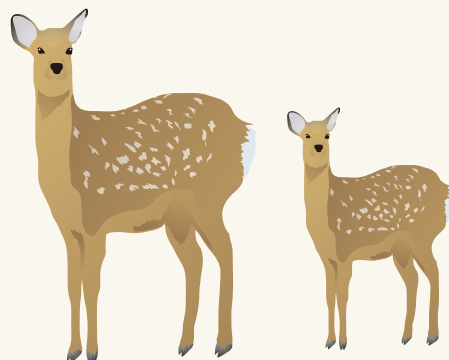
春国岱クイズ

エゾシカの毛の色が、夏毛になり、せなかの白いもようがめだつようになりましたね。

中国では、この白いもようをある木の花に見たてた名前をつけています。

その木の花とは、次のうち、どれでしょう？

1. ウメ（梅）
2. モモ（桃）
3. サクラ（桜）



イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。

9/24（日）

13時半～
15時
申込み不要

「春国岱のハマナス保全プロジェクトで わかったこと」

2014年からシカ柵を設置して、ハマナス群落を保全しています。調査を通してわかったこと、以前と比べ、春国岱の環境や鳥など他の生きもの様子がどのように変化しているかをお話ししていただきます。

講師：外山雅大さん（根室市歴史と自然の資料館）
高田令子さん（ニムオロ自然研究会）

対象：中学生～大人
定員：40名※申込み不要
持ち物：筆記用具



今後の予定 10/15（日）「バスツアー・風蓮湖周辺の湿原を歩く」（仮題）

午前中予定 雨天時延期 10/22（日）

※申込みは行事の約1か月前から募集します

募集中！

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円



フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆8月休館日：2・9・14・16・23・30日

開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録

クイズのこたえ 1 中国語ではエゾシカを含む日本に住むシカ（ニホンジカ）のことを「梅花鹿（メイ・ファ・ル）」と呼びます。